

自己表現力・実践力を育成する指導の研究

～かかわり合い，伝え合う活動の充実をとおして～

I 研究仮説

教育活動全般において，かかわり合い，伝え合う活動の充実を図り、教科指導、及び道徳・特活・総合等の中で個々の場面に応じた具体的な方策が講じられるならば、生徒の自己表現力・道徳的実践力を高めることができるであろう

II 研究内容

(1) 確かな学力と「自己表現力」「道徳的実践力」を育てるための研究

ア 各教科において「自己表現力」を育てる手だてを実践研究する

イ 表現力やコミュニケーションのスキルについての研修を進める

ウ 自己表現力・道徳的実践力を育てる道徳・特別活動・総合的な学習の指導の在り方を実践研究する

エ 少人数授業、習熟度別授業、T T 授業を活用したきめ細かな指導について実践研究する

オ 過去2年間に行った実践の中で有効と思われる指導・事例を抽出し、その検証を行う

(2) 新学習指導要領移行期の教育課程の編成の研修

平成24年度完全実施される新学習指導要領の内容の研修を積み上げ、新教育課程を編成実施する

(3) 生き方を学ぶキャリア教育の実践的研究

昨年度まで積み上げてきたキャリア教育を継続し、1年次から3年次までを見とおした「生き方」の学習として充実させる

ア 1年次…コミュニケーションの基礎力の育成

イ 2年次…勤労観・職業観の育成（職場訪問，農業体験をとおしての実践研究）

ウ 3年次…進路決定

(4) N I Eを活用した実践

平成22年度・23年度指定のN I Eを活用し、表現力の育成を目指す

III 具体的研究内容

(1) N I Eに関する全校体制での取り組み

ア N I E「わたしと新聞」

新聞の切り抜きを貼った用紙に感想を書いたもの。各クラスごと、交替で全員が取り組み、朝の会などでその内容について発表。発表後の用紙は、所定のファイルに入れて保管し、自由に閲覧ができるようにした。また、期間が経った用紙は、廊下の壁に掲示を行った。

イ N I E感想文コンクール

“Happy News”「心がポカポカするニュース」と題し、新聞の切り抜きを貼った用紙

に、その感想を添えた作品を募集。優秀作品を選出して表彰を行った。

ウ 全教科におけるNIEの実践

前年度の実践に基づき、各教科で取り組み内容を定め、その実践と反省を行った。

(2) 講師を招いての研修

6月29日 講師 NIEアドバイザー渡辺節子先生 NIEを活用した俳句創作

2月22日 講師 スクールカウンセラー保坂美里先生 傾聴に関する研修

(3) 研究授業の実施

7月13日	3年生道徳	授業者	三枝まり子教諭
		指導・助言	県義務教育課 田中一弘指導主事 峡東教育事務所 萩原 徹指導主事
11月9日	2年生理科	授業者	三枝敏明教諭
12月7日	1年生道徳	授業者	依田久幸教諭
		指導・助言	県義務教育課 田中一弘指導主事

IV 成果と課題

NIEの最終年度であることから、研究主題の「自己表現力」「道徳的実践力」の育成と併行して、NIEを活用した研究授業の実施、道徳・学活・総合を含めた各教科における効果的な指導の実践、さらには全校体制でのNIEに関する研修や各種の取り組みの充実を図りながら研究を続けてきた。

まず、研究授業に関しては、3学年及び1学年に於いて道徳の授業を実施し、自己表現力及びNIEの活用方法について研究を深めることができた。また、2学年の理科の授業では、確かな学力を育成する上での有効な実験方法の在り方や板書の工夫等について活発な議論がなされ、今後の指導方法を考える上で有意義な知見を得た。

NIEについては、全校体制の中で、さまざまな実践に取り組むことができた。まず、6月には、NIEアドバイザーの渡辺節子先生をお招きして、1学年の生徒全員を対象に、俳句創作の授業を実施し、NIEの新たな可能性を実感することができた。また、全校生を対象とした「わたしと新聞」「NIE感想文コンクール」等の実践を通して、NIEに対する生徒の関心・意欲を著しく高めることができたのは、本年度の研究の大きな成果であったと考えられる。過去2年間の研究を土台にして、今後もNIEの取り組みを継続的かつ発展的に押し進め、それを自己表現力・道徳的実践力等の向上にどうつなげていくかが、今後の課題と考えられる。

V 成果物

(1) 研究授業指導案(中1・中3道徳, 中2理科)

(2) NIE実践報告書(平成22年～23年度)

(研究主任 三森鉄治)